

交流のメリット

高齢者が、介護される側から乳幼児を見守る役割りを見つけることにより、自身の存在価値を再確認されています。



利用者・家族の声

少人数の為、ご利用者一人一人とゆっくり向き合う事を意識しています。そのことにより、細やかな観察が出来、ご家族とも連携して、事故を未然に防ぐことが出来ています。

施設職員の声

ご利用者と深くかかわる事ができるため、その方の事がよく理解でき、手厚い介護が出来ています。

- ◆主体：株式会社 スマイルハート
- ◆住所：兵庫県尼崎市塚口町6-53-7
- ◆電話：06-4961-6760

- ◆E-MAIL：ayumi@smile-heart.co.jp
- ◆ホームページ：http://www.smile-heart.co.jp
- ◆開設時期：平成22年6月

鳥取ふれあい共生ホーム

てるひ
照陽の家（鳥取県米子市）

活動理念・事業内容等について

活動理念

核家族化が進む今日、高齢者の方と子どもたちがこの家に集うことで温かな時間を過ごし、人と人との「しあわせ」な気持ちで繋がり、しあわせな気持ちで1日を過ごすことです。



開設の経緯

開設者は近年の日本の家族のあり方、人とのコミュニケーションについてのより良い形として互助・共助を実現出来る共生ホームを常々考えていました。大家族の「集い」の形がもたらす高齢者・乳幼児・また働く職員への心への影響が即ち地域再生であることを期待して開設しました。その考えを市や地域の方々へ相談し鳥取県が進める共生ホームの補助金の交付要件や人員基準などについて確認をしました。



事業内容

対象者		サービス内容	備考
高齢者		小規模多機能型居宅介護	
子ども	乳幼児	認可外保育施設	
	学齢児	一時預かり	

※ 介護基盤緊急整備等臨時特例交付金を活用【国】(施設整備費)

※ 地域共生型施設の取組に対する地方単独補助を活用【県、市】(施設整備費、運営費)

利用者の交流について



交流の概要

日中のレクリエーションや記念祭、外出活動などを合同で行っています。外出活動では高齢者の利用者様のご自宅へ乳幼児が訪問する機会もあります。

交流のメリット

高齢者は乳幼児との活動を通じて役割を見つけている様子です。また不穏時でも、乳幼児の笑顔を見ると自然と笑顔になられ笑顔の連鎖が生まれています。乳幼児は高齢者との関わりの中で挨拶の大切さや、食事のマナーを自然と学んでいます。

利用者・家族の声

乳幼児の保護者様からは「高齢者と一緒に、病気の予防などは大丈夫ですか？」という意見もありましたが、ホームの考え方、また体制を説明し開始・利用されるうちに「いつも笑顔で迎えてくれて嬉しい」「〇〇さん（高齢者）の話を家でもしてくれる」といった意見を頂きました。また、高齢者のご家族からも「家で子どもの話をしてくれる」といった意見を頂きました。

施設職員の声

開設当初は乳幼児数0でスタートしましたが、人数が増えていくにつれて「高齢者の笑顔が増えてきた」という意見が出ました。地域の民生委員さんや市職員、地域包括支援センターのスタッフからも「子どもが増え、施設の雰囲気は賑やかでとても良い」「高齢者も自然と笑顔が生まれている」といった意見をいただきました。ボランティアにいられた方々も「単に高齢者だけでなく、子どもがいることでよりやりがいが出る」と言われました。また行事の際には地域の住民（30人程）が足を運んでくださり、その際に「高齢者だけだと入りにくいが、子どもがいるから足を運びやすかった」という意見も頂きました。

◆主体：有限会社 ケアサービス米子

◆住所：鳥取県米子市角盤町3丁目124-3

◆電話：0859-21-8151

◆E-MAIL：teruhinoie@eos.ocn.ne.jp

◆ホームページ：

<http://www.careservice-yonago.ecnet.jp/>

◆開設時期：平成23年4月

デイサービスぬくもいの家 「葦の里」 (佐賀県嬉野市)

活動理念・事業内容等について

活動理念

住み慣れた地域で、その人らしく尊厳をもち生活が送れるよう支援します。



開設の経緯

福祉への公共事業廃止、少子化に伴う高齢化率の上昇、老人施設の待機待ちの増加など、高齢者・障がい者が生活するには厳しい社会となっています。自分のこれまでの経験と技術を生かした支援ができないかと暗中模索し、年齢、障がいの有無を問わず集える宅老所の存在を知り、住み慣れた地域でその人らしく生活が送れるよう支援することを目的として法人設立。開設にあたり、佐賀宅老所連絡会、市役所に相談し、補助金の交付要件や人員基準などについて確認しました。